

市職員ワークショップ実施報告

1. 市職員ワークショップの実施概要

(1) 目的

今後、「(仮称) 町田市産業振興計画 19-28」の策定検討を進めていくうえでの参考資料として活用することを目的とし、町田市の多様な部署に所属する職員の視点から、町田市の経済・社会の強み・弱み等の整理、及び下記(2)の④に示すテーマを実現するためのアイデアの検討を行った。

(2) 実施概要

①日 時：平成30年4月17日(火) 15:00~17:00

②会 場：町田市役所3階 301会議室

③参加者：32名

…参加者を5~6名ずつ、A班~F班の6つのグループに分け、各グループで④に示すテーマについて検討した。

④検討テーマ：

- ・テーマ①：「たくさんの新しいビジネスが生まれるまち」の実現(担当：グループA、B)
- ・テーマ②：「時間とお金を使いたくなるまち」の実現(担当：グループC、D)
- ・テーマ③：「町田で働き、町田で暮らす」の実現(担当：グループE、F)

⑤当日の流れ

時刻	行ったこと	
15:00	開会	
15:00~15:10	事務局からの説明	事務局より、本日の趣旨や進め方について説明。
15:10~15:15	自己紹介・役割決め	各グループでメンバーの簡単な自己紹介、タイムキーパー(1名)の選出を行った。
15:15~15:45	グループ作業①	グループごとに提示された議題に基づき、町田市の特徴について、グループで話し合いながら「強み・弱み・機会・脅威」の4つに分類・整理。
15:45~15:55	検討結果の発表	同じテーマが与えられているグループ同士、お互いにグループ作業①の結果を発表。発表して気づいたこと、相手グループの意見で参考になったことなどを踏まえ、改めて自分たちの検討結果の見直しを行った。
15:55~16:00	事務局からの説明	グループ作業②の内容について説明。
16:00~16:35	グループ作業②	グループ作業①で整理した町田市の「強み・弱み・機会・脅威」を踏まえ、それぞれのテーマに基づき、今後の取り組みについてどのような方向性が考えられるか、各グループで検討。
16:35~17:05	発表	各グループの議論の結果について発表(各班5分程度)。

⑥検討作業の進め方について

【グループ作業①】

- ・「町田市の特徴として挙げられること（内部要因）」と「今後の社会・経済の変化に影響を与えると考えられる変化（外部要因）」について、それぞれ「プラスの要素」と「マイナスの要素」という視点を加え、以下のような4つの区分に整理した。

	プラスの要素	マイナスの要素
内部環境	<p>【強み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町田市の特徴として挙げられること（市の内部に由来するもの）のうち、各テーマに対してプラスに作用すると考えられる要素 	<p>【弱み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町田市の特徴として挙げられること（市の内部に由来するもの）のうち、各テーマに対してマイナスに作用すると考えられる要素
外部環境	<p>【機会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後の社会・経済に影響を与えられられる変化（市の外部に由来するもの）のうち、各テーマに対してプラスに作用すると考えられる要素 	<p>【脅威】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後の社会・経済に影響を与えられられる変化（市の外部に由来するもの）のうち、各テーマに対してマイナスに作用すると考えられる要素

【グループ作業②】

- ・グループ作業①で整理した内部要因（「強み」・「弱み」）と外部要因（「機会」・「脅威」）を組み合わせ、今後訪れる機会をつかみ、また脅威を乗り越えるため、町田市の強みをどのように活かせるか、あるいは弱みをどのように克服していくべきかという対応策を検討した。

	【強み】	【弱み】
【機会】	<p>機会×強み</p> <p>【強みを活かし機会を捉える】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町田市の強みを活かし、チャンスを最大限に活用できる方法を考える 	<p>機会×弱み</p> <p>【弱みを克服し、機会を逃さない】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・せつかくのチャンスを逃さないために、町田市の弱みを克服する方法について考える
【脅威】	<p>脅威×強み</p> <p>【強みを活かし脅威を回避・機会に転化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町田市にとって脅威となり得ることについて、市の強みを活かすことにより脅威を回避したり、あるいはチャンスに転化する方法はないか考える 	<p>脅威×弱み</p> <p>【弱みを克服し、脅威を回避】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外部からの脅威が町田市の弱みに重なり、最悪の状態を招くことがないよう、弱みの克服や脅威を回避する方法について考える

2. 市内ワークショップでの検討結果

各グループの検討結果は以下の通りである。なお、取り組みの方向性については「町田市役所（行政）」という立場にとらわれず、今後の機会や脅威に対応していくためにはどのようなことが考えられるかという視点で検討を行っている。

(1) テーマ①：「たくさんの新しいビジネスが生まれるまち」の実現（グループA、B）

◇現状整理：強み、弱み

	A グループ	B グループ
強み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鉄道駅が多い ・ 各方面へのアクセスが良い 都心へも 30 分ほど 20 分ほどで新幹線に乗れる 高速道路の IC がある 羽田空港へも 1 時間ほど ・ 子どもの転入が多い ・ 子育て世帯からお年寄りまで幅広い世代の人が住んでいる（様々なニーズを知りやすい） ・ 大学が多い ・ 都心に近い ・ 緑が豊かである ・ スポーツが盛ん ・ 駅前には商業施設が多く発展している ・ 商店が多い 	<ul style="list-style-type: none"> ・ JR と小田急線があり、都心へのアクセスが良い・大学が多い ・ 転入超過 ・ 大学・教育機関が多く立地している・鉄道駅が多い ・ 町田駅周辺は交通利便性が高い ・ 町田駅周辺は大規模な商業地域となっている ・ 複数の市と隣接している ・ 新産業創造センターがある
弱み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人口減少 ・ 20 代の転出が多い ・ 交通の便が悪い （電車の駅が広さの割に少ない） ・ 市域が長い ・ 都心から遠い ・ 大きい法人が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生産年齢人口は減少し高齢者人口は増加していく見込み ・ 空き家が増加 ・ 都心から遠い ・ まちなかに空き店舗が多い ・ 団地に住む高齢者が多い

◇現状整理：機会、脅威

	A グループ	B グループ
機会	<ul style="list-style-type: none"> ・ラグビーワールドカップ ・オリンピック、パラリンピック ・リニア開通 ・高速道路に近い ・小田急線の複々線化 ・多摩都市モノレールの延伸 	<ul style="list-style-type: none"> ・2019年 ラグビーワールドカップ 2020年 東京五輪による入込観光客数増加 ・鉄道、道路の整備 ・小田急線複々線化 ・リニア ・ネット、IT活用の機会が増加 ・町田市は、政令指定都市3市にかこまれており、集客の機会に恵まれている ・高齢者ビジネス
脅威	<ul style="list-style-type: none"> ・人口や大学等の都心回帰が進んでいる ・少子高齢化 ・人口減少 ・隣接で特区 ・消費税増税 	<ul style="list-style-type: none"> ・大学などの都心回帰 ・少子化、大学定員割れ ・政令市にかこまれている（大企業が多い）

◇取り組みの方向性

	A グループ	B グループ
強 み × 機 会	<ul style="list-style-type: none"> ・大学、産業 × リニア・モノレール 多方からスタートアップ 集積、広域連携・隣接で特区 ・日帰り小旅行 ・リニア、モノレールの開通を転入者の増加 につなげる ・緑を活かし、農業特区開通を転入者の増加 につなげる ・ラグビーWC やオリ・パラの機会をとらえて 子どもへのスポーツ普及（特に駅前） ・オリンピックにあやかってスポーツの町 としてイメージを定着させる ・子ども向けスポーツイベント&企業 	<ul style="list-style-type: none"> ・宿泊施設の充実 ・14歳以下転入超過保護者ターゲット、 生涯学習施策 ・新産業創造センターを大学内に ・産学連携による起業等促進（セミナー開催） ・町田市の対外的なプロモーション ・インキュベーション施設増設 ・後継者問題を抱える高齢経営者と次世代の マッチング
強 み × 脅 威	<ul style="list-style-type: none"> ・ちいさいうちから大学まで…一貫…？ ・お年寄り × 子ども 	<ul style="list-style-type: none"> ・大学を誘致
弱 み × 機 会	<ul style="list-style-type: none"> ・リニアで一気に品川へ、橋本へのアクセス向上 ・道路網の整備 ・今ある商業施設をもっと栄えさせる （都心からの人が来るように） ・ワールドカップやオリンピックによる来訪者 増加を定住につなげる ・交通機関の改善の機会を捉えて、転入や法人の 呼び込み 	<ul style="list-style-type: none"> ・隣接市でも行政手続きできるように 利便性アップ ・高齢者ボランティアの活用 ・元気な高齢者の就労促進 ・団地の高齢化→高齢者ビジネス ・高齢者向けサービス（医療・福祉）を集積した 高齢者施設の企画 ・高齢者でもできるネットビジネス講座 （セミナー、マッチング等） ・空き家を活用したインキュベート ・空き家を働く場所に（ノマドワーク等） ・空き家でネット販売都が補助金
弱 み × 脅 威	<ul style="list-style-type: none"> ・学生を転出させないための仕事を市内 につくる ・人口減少に拍車がかかることを踏まえ、 若い世代の定着をはかる 	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家を民泊として活用 ・空き家の活用家賃補助 ・大学入学町田市民を優遇

(2) テーマ②：「時間とお金を使いたくなるまち」の実現（グループC、D）

◇現状整理：強み、弱み

	C グループ	D グループ
強み	<ul style="list-style-type: none"> ・交通アクセスが良い ・町田駅の乗降客が多摩地域で No.1 ・近年完成する大型ショッピングモール ・南町田再開発 ・町田駅周辺に商業施設やカフェが多い ・商業がさかんで駅前に賑わいがある ・けっこう飲食もできる ・若者が多い（第2の渋谷） ・緑があり商店街があり…と地域資源にあふれている ・おまつりやイベントを地域で行っている（まちカフェ等） ・町田が好き！という方が結構いる 	<ul style="list-style-type: none"> ・アクセスが良い ・子育て世帯の転入者が多い ・人口まだ増えている ・子育て政策が充実している ・商業の集積、発展 ・商業地域から緑の多い地域まで色々な地域がある ・神奈川県にとびでた地形 ・大山まいり、鎌倉街道等の歴史的価値 ・鶴見川源流による水資源 ・プロスポーツチーム3つのホームタウンチームが活動している ・東京団体に組織したスポーツボランティアが市の様々なイベントで活躍している ・図書館の貸出数が他の自治体に比較して多い
弱み	<ul style="list-style-type: none"> ・駅前しか時間を潰せるところがない ・娯楽やレジャー施設が少ないイメージ ・たいした観光資源がない ・中継、乗換というイメージ ・安全安心なまちというイメージが薄い ・駅前が車社会に適應できていない ・個性がないココでしか！というものが少ない ・2流っぽいところが町田の弱みと感じる人もいる ・商店会と地域の人が結びつかない ・おもてなしがオール町田できていない 	<ul style="list-style-type: none"> ・休める公園、広場がない ・みどりが少ない ・映画館がない ・高低差があるバリアフリーでない ・道路アクセスが良くない ・出生率が低い ・今後の高齢化により財政不足が生じていく ・治安が悪いイメージがある ・若者の流出 ・各団体の横のつながりのうすさ

◇現状整理：機会、脅威

	C グループ	D グループ
機会	<ul style="list-style-type: none"> ・小田急ダイヤ改正モノレール延伸 ・鉄道網、輸送網の強化による、他都市からの集客 ・東京オリンピックパラリンピック観光客増加が見込まれる ・隣接地域に多くの大学などがある ・高齢化 ・0～14歳の転入超過率 ・シビックエコノミーという考え方が生まれてきている ・様々な働き方がある＝町田ですべてまかなうことができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・リニアモーター橋本乗入れ ・多摩モノレール乗入れ ・小田急多摩線乗入れ ・オリパラに向けた消費の活性化 ・Tokyo2020 オリンピック・パラリンピックのキャンプ地誘致 ・観光者数増加 ・グランベリーパーク
脅威	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少社会、労働力人口の減少が進行 ・20代前半は転出が多い ・海老名市、多摩センター、横浜市など近隣都市の活性化 ・近隣にショッピングモールなどの開発が増えてきている ・リニアの駅ができて人の流れが流出傾向に ・道路事情が良くない 	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少 ・少子高齢化 ・近隣商業施設（海老名、座間、相模大野） ・Jクラブが近隣に集まっている ・ネットでの買い物増加 ・財政難

◇取り組みの方向性

	C グループ	D グループ
強み×機会	<ul style="list-style-type: none"> ・家賃を安くして学生に住んでもらう ・若者と地域商店街のコラボ企画 ・若者や大学のゼミなどを活用し、商店街や町田の魅力を向上させるプロジェクトをつくる ・町田に来る人に、もう一度来たい！住みたい！と思ってもらえる商業施設や便利さをアピール ・高齢者の送迎サービスによる「買物」の付加価値向上 ・高齢者・子育て世帯向け日本一買物しやすい街になる ・ボランティアを体験したことがある若者をウリにする ・フェスなどのイベント ・地域でお金を循環させることで、地域の活性化にもつながっていることを伝える ・東京五輪パブリックビューイングの開催 ・企業をよぶ 	<ul style="list-style-type: none"> ・相模原補給廠開発に便乗して町田市の人口増やす ・観戦者、市内で飲食 ・町田市の歴史、文化を世界に発信していく ・外国と姉妹都市 ・町田駅たてかえ ・横浜線に特急を ・駅前スタジアム ・オリンピック、パラリンピック代表 VS ホームタウンチームの実施 ・外国人観光客にコト消費してもらいまちにする ・相模原市と連携した南口再開発 → 娯楽施設と交番設置 ・中心市街地再開発 ・南町田のまちづくりを子育てのまちにする ・保育所の充実
強み×脅威	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣市とのガイドウォークツアー（回遊性） ・人口減が底をついた時に再開発・宅地造成で売る ・他自治体と合同のお買い物クーポン、ポイントで町田一帯を行き来してもらえるように ・商業施設の発展と合わせ、近隣市との差別化 ・緑、自然があることを子育て世代でも暮らしやすいことへの PR に ・教育特区 	<ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化 + 子育て世帯の転入 幅広い世代に向けたビジネスができる ・通学途中としての塾、クラブチームの充実
弱み×機会	<ul style="list-style-type: none"> ・企業をよぶ ・老若男女が楽しめるレジャー施設 ・町田市は特徴がないところが特徴なんだと PR する ・グルメ開発 ・治安の悪いイメージを子どもたちと一緒に払拭する 	<ul style="list-style-type: none"> ・治安良くなっていること PR ・キャッチをなくす ・娯楽施設が少ない 町田市にゆかりのある人を呼び込みイベント
弱み×脅威	<ul style="list-style-type: none"> ・海老名市との連携事業 ・法律、条令の徹底で近隣市よりも安全・安心な街 ・町田発のバスツアー（海老名） 	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣の自治体の発達+「治安の悪いイメージ」 ＝まちだならではのブランドの確立 ・大卒者が町田市に在住する際の支援 → 住民税確保

(3) テーマ③：「町田で働き、町田で暮らす」の実現（グループE、F）

◇現状整理：強み、弱み

	E グループ	F グループ
強み	<p>まとめ：既存は充実だが、発展は少ない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性が働くための保育環境が整っている ・駅前施設が充実 ・福祉に力を入れている ・高齢者が働けるようにコミュニティバスの運行 ・自然資源 ・交通が良い ・大学が多い 	<ul style="list-style-type: none"> ・人口が多い ・0～14才の流入全国1位 ・各地域に子どもセンターがある ・駅から送迎サービスがある（育児） ・大学等が多く立地 ・都心にも行け、海と山にも近い距離にあり、暮らしの基盤としてよい ・交通利便性に恵まれている ・駅前に百貨店やファッションビルが集積 ・暮らしやすい、住み続けたいと思う人が多い ・豊かな自然 ・商業施設と自然が調和している
弱み	<ul style="list-style-type: none"> ・2020年をピークに人口減少 ・働き場所がなく市外へ流出 ・大企業が少ない ・多摩26市の中では規模の小さい事業所が多い ・治安に対するイメージが良くない ・開発用地が少ない ・中心部地価が高い ・商業施設が古い 	<ul style="list-style-type: none"> ・昼夜間人口比率が低い ・20代前半の転出が多い ・子どもの減少、廃校の問題 ・合計特殊出生率が全国平均より低い ・団地の空室率上昇 ・都心へのアクセスが悪い ・通勤時間が長い ・市内の中でも交通格差がある ・有効求人倍率が低い ・起伏が激しい地形 ・駅前繁華街の治安の悪さ ・大型の商業施設、娯楽施設が少ない

◇現状整理：機会、脅威

	E グループ	F グループ
機会	<ul style="list-style-type: none"> ・小田急線複々線化 ・モノレールの延伸 ・小田急線の相模原までの延長 ・働き方改革 ・IoT 市場の拡大 ・2019 ラグビーW 杯 ・2020 オリ・パラ 	<ul style="list-style-type: none"> ・小田急線延伸多摩モノレール、リニアなど交通網が今後充実していく ・テレワークの推進 ・働き方改革が国主導で推進されている ・都心、横浜へのアクセスが良い ・ICT 技術の向上 ・隣接市との広域連携（広域証明発行公共施設・公共サービス相互利用） ・東京オリンピック、パラリンピックの開催
脅威	<ul style="list-style-type: none"> ・若者の減少 ・少子高齢化 ・都心回帰 ・相模原駅前再開発 ・海老名市開発 ・保険料負担の増加 ・保育園数不足 ・他市への住民の流出 ・大学、短大の統廃合 ・リニアの開通 	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少 ・通勤時間の短い 都心や臨海に住む人が多くなっている ・近隣市に比べて小売吸引力指数が低い ・近隣地域（相模大野など）の都市整備が進んでいる ・有効求人倍率が低い ・リニア中央新幹線の開業 ・自治間競争の激化

◇取り組みの方向性

	E グループ	F グループ
強 み × 機 会	<ul style="list-style-type: none"> ・町田の資源を活かしたビジネス ・小田急線沿線のブランド化 ・鉄道マニアの集客施設 ・都心への交通費補助 ・交通が良くなるためアクセスが良くなり学生、企業が町田にやってくる ・交通が良いのでオリンピック、パラリンピックの市への流入が多くなる ・学生スポーツへの支援 ・大学 × 企業 連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・交通網発達でできる駅に保育所設置し、更なる子育て世帯の流入 ・交通網発達による商業施設のリニューアルが行われる ・交通利便性を活かして駅周辺の再開発 ・中学校における ICT 化の推進
強 み × 脅 威	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が起業しやすい ・サテライトオフィス制度をつくる ・交通の便が良くなれば若者の減少も止められる ・2世帯での移住促進 ・65歳以上の雇用数に応じて各企業に補助金 ・短時間勤務の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・企業誘致のスペース確保のため用途地域の見直し ・自治体間競争ではなく自治体間協創
弱 み × 機 会	<ul style="list-style-type: none"> ・企業 × 企業 連携 ・団地をオシャレに学生向けに改築 ・シェアオフィス 	<ul style="list-style-type: none"> ・交通網発達に伴う複合施設の設置 ・交通網発達に伴う企業の誘致 ・テレワーク、モバイルワークの在宅誘致推進 ・テレワーク施設（サテライトオフィス）の開設・誘致 ・廃校を保育園に格安で貸し出す 空き教室も
弱 み × 脅 威	<ul style="list-style-type: none"> ・地元企業と地元高齢者の連携 ・治安が悪いイメージだが、若者の減少により治安が良くなるかも？ ・大規模再編に合わせて企業誘致（集積させる） 	<ul style="list-style-type: none"> ・空き施設の有効活用 ・タクシーの割引制度 ・団地の広場等で大規模朝市 ・合計特殊出生率をあげる子育て、出生支援を拡充し人口減少を防ぐ ・バス専用レーンの充実 ・リノベーション住宅の推進 ・集会施設等利用したスモールオフィスを充実させる